

## 会 員 名 簿

誠 明 夫 蕉 夫 惠 子 郎  
恒 幸 良 律 一  
本 場 澤 藤 谷 本 田 本  
榎 大 小 加 金 坂 廣 復

## 編 集 後 記

\*なんとか第十号を発刊することができた。御多忙の中、御協力いただいた執筆者の皆様にご心より御礼申し上げます。

\*本号は、全四篇と、論文数は少ないが、いずれも密度の濃い研究論文であり、味読いただきたい。

\*経営学部において、スタッフの皆様の御理解により人文科学系の研究誌「麒麟」が発行し得ること、そして、発表論文が、それぞれの学会で高く評価されていること、の二つながらの至福を編集子はしみじみと味わっている。

\*鬼ヶ城は、十年來の著作をまとめた（『俳句源流考』『俳句芸術論』）関係もあり、十号にして、初めて欠稿。十一号を期する。

\*学内外で活躍された坂本恵氏が、東京外国語大学に栄転される。学部はもとより、「麒麟」（十七世紀文学研究会）としても、まことに残念ではあるが、氏の御研究のますますの御発展を祈念したい。

\*人文科学系の教員に限らず、奮って「麒麟」のメンバーに加入されたい。私の座右には、恵送いただいた上野千鶴子氏の御著書『文学を社会学する』（朝日新聞社）があるが（この著作、めっぽう面白い）、あらゆる研究ジャンルから、多様な視点で、十七世紀文学に挑戦されたい。ユニークな論文を鶴首している。

（鬼ヶ城）